

平成29年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

平成29年10月30日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 岡山市立岡山後楽館高校
氏名 上林 栄一

平成29年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	らっかんランチ食堂	
取組の概要	<p>「食育推進全国大会 in おかやま」に向けての活動で、孤食と向き合い、取り組んだ地域の高齢の方との郷土料理作り。そこでの「たまには高校生と一緒に賑やかなところでご飯を食べるのもいいなあ」という一言から始まった企画です。毎月一回、地域の方に食堂を開放して高校生と一緒に食事を楽しんでいただき、学校と地域との交流を図ります。特に普段一人で食事をされている方や、ゆっくり食事を楽しむことがない方にとっての「特別なひととき」になることを願っています。もちろんそこには高校生にとっても大切な「学びの場」があります。</p> <p>最近では、小さなお子様連れの方も利用してくださり、多世代がつながる場として新しい可能性を感じています。</p>	
協働団体	南方地区連合町内会 南方地区婦人会 旭公民館 岡山県社会福祉協議会	
取組の実施期間	始期：平成29年 6月～	<input type="checkbox"/> 平成 年 月終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月頃終了予定 ※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	らっかんランチ食堂
平成29年度募集テーマ	楽しんで年を重ねられる社会のために
テーマとの関連	<p>私たちは、何歳になっても豊かな人間関係を築くことができる社会こそ「楽しんで年を重ねられる社会」だと考えています。</p> <p>社会のために、私たち岡山後楽館高校にできることは何か。私たちは「らっかんランチ食堂」を通じて高齢者をはじめ、地域の方々に高校生の元気と笑顔を届けたいと考えています。私たちの活動が豊かな人間関係を築く一助になると考えています。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>社会保障・人口問題研究所による2012年の調査では、65歳以上の一人暮らし男性のうち、2週間で1度も会話をしない人が6人に1人もいるという結果がでています。現代社会では、多くの人が年を重ねるとともに孤立する社会となっています。南方地区婦人会の会長によると実際に後楽館高校周辺の地域でも、男女を問わず多くの閉じこもりの高齢者がいらっしゃるということです。</p> <p>このような地域課題の解決に少しでも近づけていくために「らっかんランチ食堂」を企画しました。高校生と地域の方々の世代を超えた交流の場を創出し、外出や人との交流の機会が少なくなっている方々が気軽に訪れることができ、充実した時間を共有することを目指しています。</p> <p>また、この活動を通じて、さらに深刻化する高齢社会に課題意識を持ち、解決に向けた行動を起こすことができる高校生が育つことも大きな目標です。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等 主として南方地区の高齢者を対象としているが、障がいを持たれた方や子育て中の方など、 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等 主として岡山後楽館高校の健康福祉系列を選択している生徒・教員、南方地区婦人会 約20名 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。 <ol style="list-style-type: none"> ①広報活動：南方地区婦人会の方による地域内の高齢者への声かけ 南方町内会の回覧板を利用した告知 旭公民館の掲示板を利用した告知 ②活動内容：毎月1回、12：15～13：25の時間帯で校内の食堂を開放して地域の方に利用していただく。高校生が接客対応をしたり、一緒に会話しながら食事をしたりして交流を図ります。 食後に無料でコーヒーを提供しています。夏休み期間は、特別企画として流しそうめんを行うなど、季節に合わせたイベントも行っています。 ③利用方法：1F玄関にて受付を行い、券売機にて食券を購入して利用していただく。誰でも気軽に利用できるよう事前予約は不要。 ポイントカードを発行しており、1回利用されるごとにスタンプを1つ押す。3つ貯まると景品がもらえる。 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。

	団体名（代表者）	この取組で果たしている役割	団体自身にとってこの取組をする理由やメリット
協働団体とその役割等	南方地区連合町内会	・町内への活動の周知と参加呼びかけ	・町内の高齢者の外出機会の確保 ・見守りと安否確認の機会増加
	南方地区婦人会	・町内への活動の周知と参加呼びかけ ・活動への参加	・町内の高齢者の外出機会の確保 ・見守りと安否確認の機会増加 ・ネットワークの拡大
	旭公民館	・利用者への活動の周知と参加呼びかけ	・地区内の高齢者の外出機会の確保 ・他の講座への波及効果
	岡山県社会福祉協議会	・高齢者を対象とした活動への専門的な立場からのアドバイスと活動のサポート	・地域活動の事例収集 ・組織を超えた連携（学校と地域）による資源開発 ・ネットワークの拡大
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点 これまで地区婦人会の活動で、独居高齢者宅への訪問活動を行っており、婦人会の方々の協力を得ることにより、主対象と考えている独居高齢者への活動周知と参加呼びかけをすることができました。また、社会福祉協議会との連携により、他地域での取組事例の情報や活動への助言を得ることができました。岡山後楽館高校の食堂は、高校生を対象として営業しているため、食事の価格が低く抑えられており、高齢者にも利用しやすくなっています。</p> <p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など 毎月、チラシを作成し、町内会、婦人会に持って行き、独居高齢者への呼びかけをお願いしています。その際に前回の活動の様子をお伝えするなど情報の共有を行っています。婦人会の方にも実際に食堂を利用していただき、意見や感想をいただくようにしています。社会福祉協議会の方にも実際に利用していただき、活動の様子を見ていただくとともに、さらに活動の質を高めるための意見交換等を行っています。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイント 通常利用することができない高校の食堂を利用することで、まるで高校生になったような気分を味わえ、元気になります。高校生徒との会話からは懐かしさや最近の高校生事情を知ることができます。ポイントカードも発行しており、3つ貯まると素敵なプレゼントを用意しています。また、季節ごとのイベントも企画しています。8月は中庭で流しそうめんを楽しみました。</p>		
成果・効果	<p>毎月参加してくださる方もでき「毎回楽しみにしている」との声もいただいています。知り合いの方を連れて来られる方もあり、徐々にではありますが、地域に浸透してきているのを感じます。参加された方は高校生と一緒に食事をしながら、いろいろな話をされます。これが大きな楽しみになるようで、好評価を得ています。</p> <p>また、活動を通じて地域との繋がりを感じる生徒が増えています。さらに福祉の授業に対する学習意欲が高まっています。このことは今後のまちづくりの中心となる世代の福祉の意識を高めることにつながると考えています。</p>		
今後の活動展開など展望	<p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望</p> <p>町内会や婦人会の協力を得て、独居高齢者の方を中心に活動の周知を継続することによって、徐々に利用される方が増え、「らっかんランチ食堂」が拠点となり、新たな人間関係が形成されるようになります。せっかく学校に来ていただいているので、食事の後に、簡単な講座（教員による授業）や芸術鑑賞（吹奏楽部の演奏等）を行うことを計画しています。また、参加された高齢者の方からは、日頃の困り事などについて聞き、後楽館高校の専門教科（工業科、家庭科、福祉科）で対応できる内容であれば、対応していくようなシステムを構築したいと考えています。活動を継続することにより、持続可能な地域づくりと人材育成に寄与できると考えています。</p>		